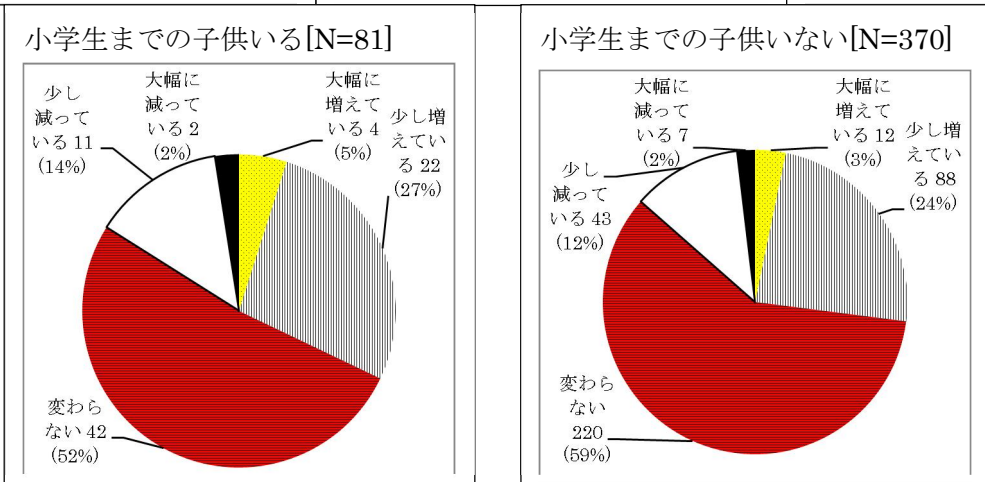
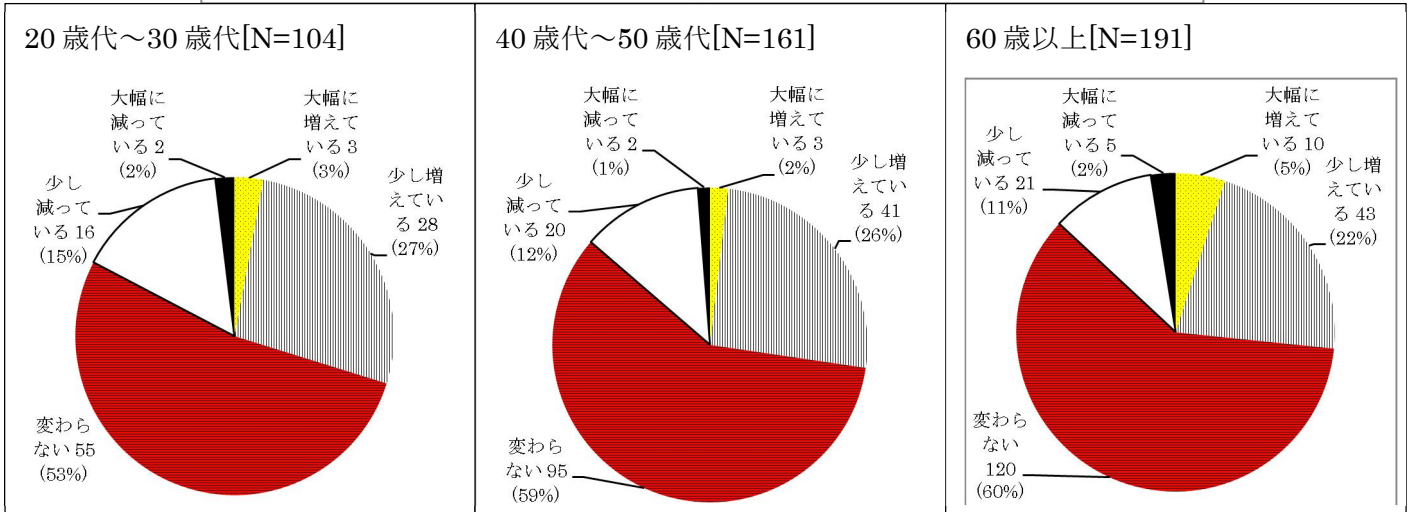
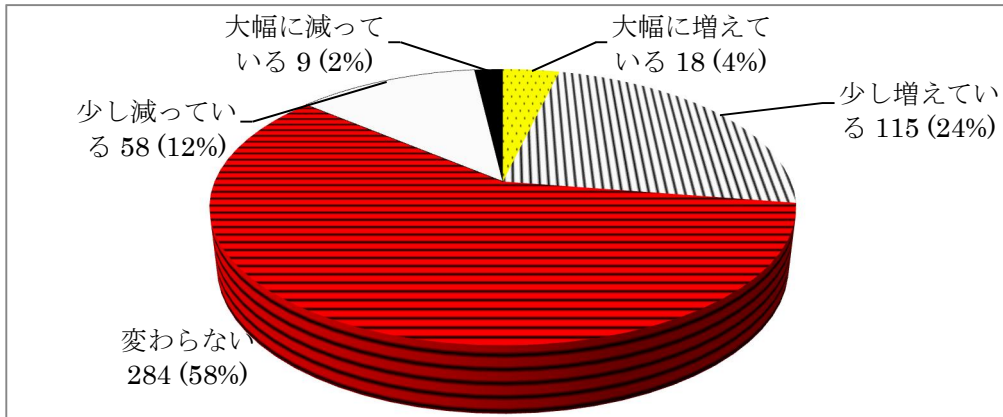


8. 3年前と比べて、ご家庭で魚を食べる回数（量）は変わりましたか？ [N=484]



【設問別の傾向】

約半数の家庭では、ここ3年間における魚を食べる回数に変化がないものの、増減のあった残りの半数の家庭を比較してみると「増加傾向にある家庭」が「減少傾向にある家庭」に比べ約2倍多くなっている。

これを世代別にみると、「増加傾向」にあるのは、魚好きである60歳以上の家庭よりも、50歳代までの家庭で多く見受けられ、このことは、60歳以上の家庭では、既に多くの魚を食べている等の理由から、今以上に魚を食べる回数を増やす余地が少ないことが推測できる。

また、「小学生までの子供がいる家庭」は「いない家庭」に比べ、増加傾向（5ポイント差）にあり、子どもの健康を配慮していることがうかがえる。

【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

全体的な傾向としては変わってはいない。

ただし、平成18年度と比べると増加の幅が（10ポイント程度）減少している。